

昨年度の総会報告

平成十五年度の同窓会総会はまた会場が変わり、真清田神社参集殿で行われました。前回会場のスポーツセンターの隣ということもあり、迷われた方も見えたようです。昨年度は恒例となった学年同窓会の全日制第18回生に加えて、放送部の同窓会が同時開催されました。当日は、総会の議事が進行している間も、受付には参加者の列ができ、会場となった宴会場はあふれんばかりの盛況で、「会場が狭い。」「冷房が効いていないのじゃないか。」との声が届くほどでした。参加者の皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、事務局にとってはうれしい誤算でした。

放送部以外の出席者からも、「今度はわが部」と話が盛り上がった様子でした。総会に合わせてのクラス会、部活の同窓会は事務局としても大歓迎です。この機会をぜひご活用ください。なお、ご計画される時は事務局にもご一報ください。

今年もまた会場が変わり、一宮スポーツ文化センターです。毎年会場が変わり、会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、今回も一宮駅から徒歩圏内です。前回、出席いただいた方からは、「懐かしい友にあえて楽しいひと時だった」「今まで無関心だったのが今回参加してとてもよかった」との声をいただきました。今年も充実した時間を過ごしていただけたと思います。遠方に見える方も、またお近くの方も、お誘い合わせになつてぜひご参加ください。



東京支部同窓会報告

三十四回生 加藤 雄燈

十一月二十二日に、一宮西高校東京支部同窓会が行われました。今回は、驚見先生、今枝先生をお迎えしました。今回の参加人数は、昨年と同様25名程。「より多くの方に参加していただく。」という、昨年度の同窓会終了時の決意を果たすことができました。とはいえ、今回もいらしてくださった先生、先輩方のお人柄もあり、非常に楽しい会にすることができました。毎年感じていることですが、社会に出て活躍しているのらっしやる先輩方とお会いするのは非常に有意義で楽しい、またエネルギーを自分の中に生み出させてくれる機会でもあります。今年も私自身、進路を決めることを迫られる大学三年の年ということもあり、例年以上に強くそう感じました。

こういった機会はこれからも大切にしていきたいです。そのためにも、若い後輩の皆さんにも多く参加していただきたいと思っております。

今回は、どんな先生方に来ていただけ、どんな会になるのか非常に楽しみにして参りました。素晴らしい会にして参りました。

関東で頑張つてらっしやるみなさん、次回の西高同窓会ではより大勢で楽しいときを過ごしましょう。



ご転任の先生からのメッセージ

前学校長 新谷 富生 先生

三月末日で三八年間の公立高校教員としての勤務が終わりました。平成十二年四月一日、辞令を受け取った後、緊張感と一抹の不安を抱きながら西高に着任されたことがつい先日のように思い出されます。それから四年間は、私にとつて充実した日々であり、先生方や生徒から様々なことを学ぶことができた期間であつたと思います。

校訓や教育目標として「文武両道」を掲げている学校は、枚挙に遑がありません。しかし、それを表現することはなかなか至難なことなのですが、西高生は見事にやり遂げてくれています。校内の部の活動場所には生徒が溢れ、明る

い声が飛び交い、活気ある活動が続けられる中、先輩後輩の良好な関係が築き上げられる姿を垣間見ることができました。そして、ほぼ全員が進学希望、しかも国公立を目指す生徒が多いにも拘わらず三年生のインターハイ予選までほとんどの生徒が部活動を続け、素晴らしい成果も着実に残してくれました。中でも、平成十三年度の陸上部のインターハイ出場(熊本、箏曲部の全国総合文化祭出場(福岡)は、大きなエネルギーを全校生徒に与えてくれたことを忘れることができません。

西高祭が終わると、学校紹介ビデオの制作に取りかかります。私は、初めての挨拶の中で、「国公立合格6割を目指している学校です」とカメラに向かって話しながら、不安な気持ちになりました。確かに今までの実績はそうであっても、夏休み頃の成績データを見る限り、その実現はほど遠いものであつたからです。しかし、生徒は進路実現のため真摯な態度で学習に取り組み、先生方もそれに応え、鬼気迫る熱意を持って指導に当たられ、次第に希望の光が見えてきました。そして、最後まで自分を信じて粘り強くやり通す精神が見事に引き継がれ、目標が達成できる結果になりました。これが西高の底力です。そして地域から信頼されている学校の神髄を感じることができました。

限られた時間の中で、部活動と学習を両立させることが可能な数少ない学校の一つが、西高であると思います。これからもその実現が継続されることを願っています。

同窓会からも、大変ご支援をいただき誠にありがとうございます。入学式の当日には山内同窓会長さんと、そして五月役員会では役員の方々と初めにお会いしましたが、和やかな雰囲気、どん

なことでも話し合える皆さまばかりだと心強く感じました。特に、全国大会出場に対する援助金、昨年度の創立四十周年記念行事「ライオンキング」鑑賞への補助、また進路ガイダンスの講師など、後輩のために後援いただきましたことに対し改めてお礼を申し上げます。

私にとつては是非とも望み進んできた教員生活でした。その締めくくりを西高で過ごせたこと、また皆様方のご援助で無事終えることができましたことを改めて感謝いたします。縁あって再び生徒と関われる仕事を続けている現在、西高での経験を少しでも生かして務めることがお世話になった皆さまへの恩返しになると考えています。西高の益々の発展を心よりお祈りします。



尾張の雄たれ！我が西高

澤木 美雪

西高には、平成四年に赴任し一六年の三月まで一二年間お世話になりました。初めてのご転勤で緊張して西高を訪れた三月下旬、二年生の補習が行われており、進路指導に並々ならぬ力を入れている